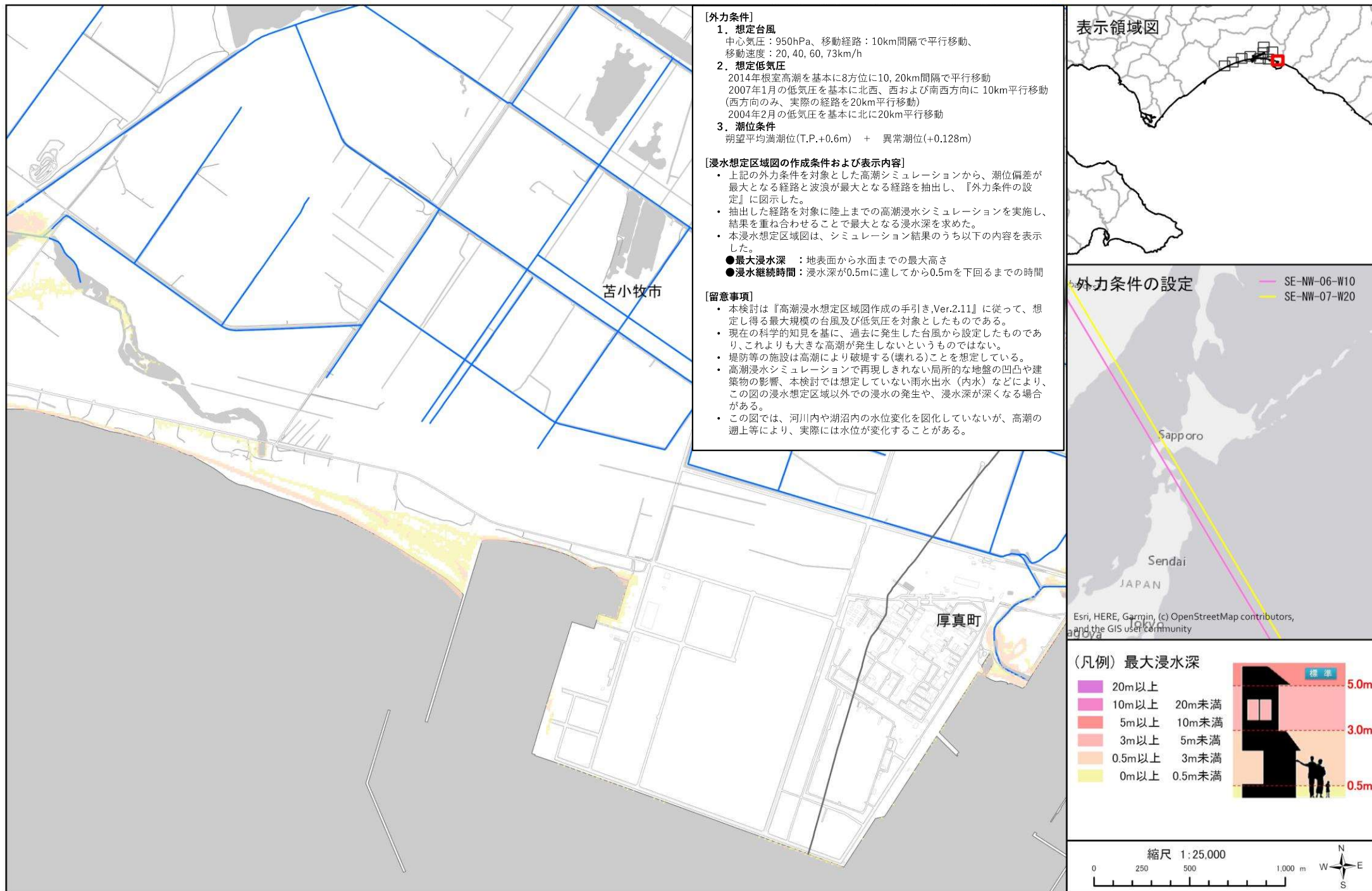


高潮浸水想定区域図（浸水深）【苫小牧市 1/ 10】



【外力条件】

1. 想定台風

中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、
移動速度：20, 40, 60, 73km/h

2. 想定低気圧

2014年根室高潮を基本に8方位に10, 20km間隔で平行移動
2007年1月の低気圧を基本に北西、西および南西方向に10km平行移動
(西方向のみ、実際の経路を20km平行移動)
2004年2月の低気圧を基本に北に20km平行移動

3. 潮位条件

朔望平均満潮位(T.P.+0.6m) + 異常潮位(+0.128m)

【浸水想定区域図の作成条件および表示内容】

- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。

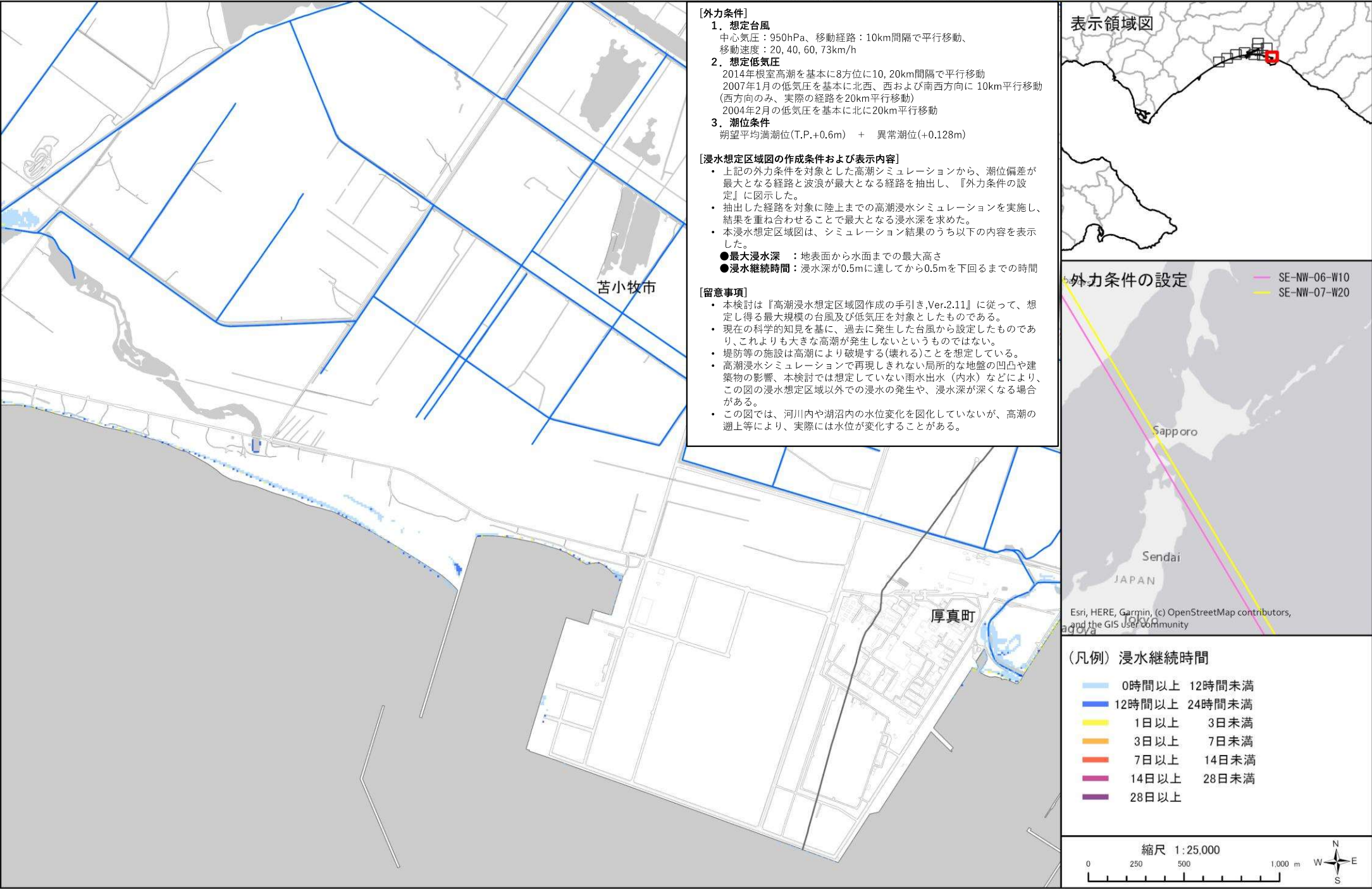
●最大浸水深：地表面から水面までの最大高さ

●浸水継続時間：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

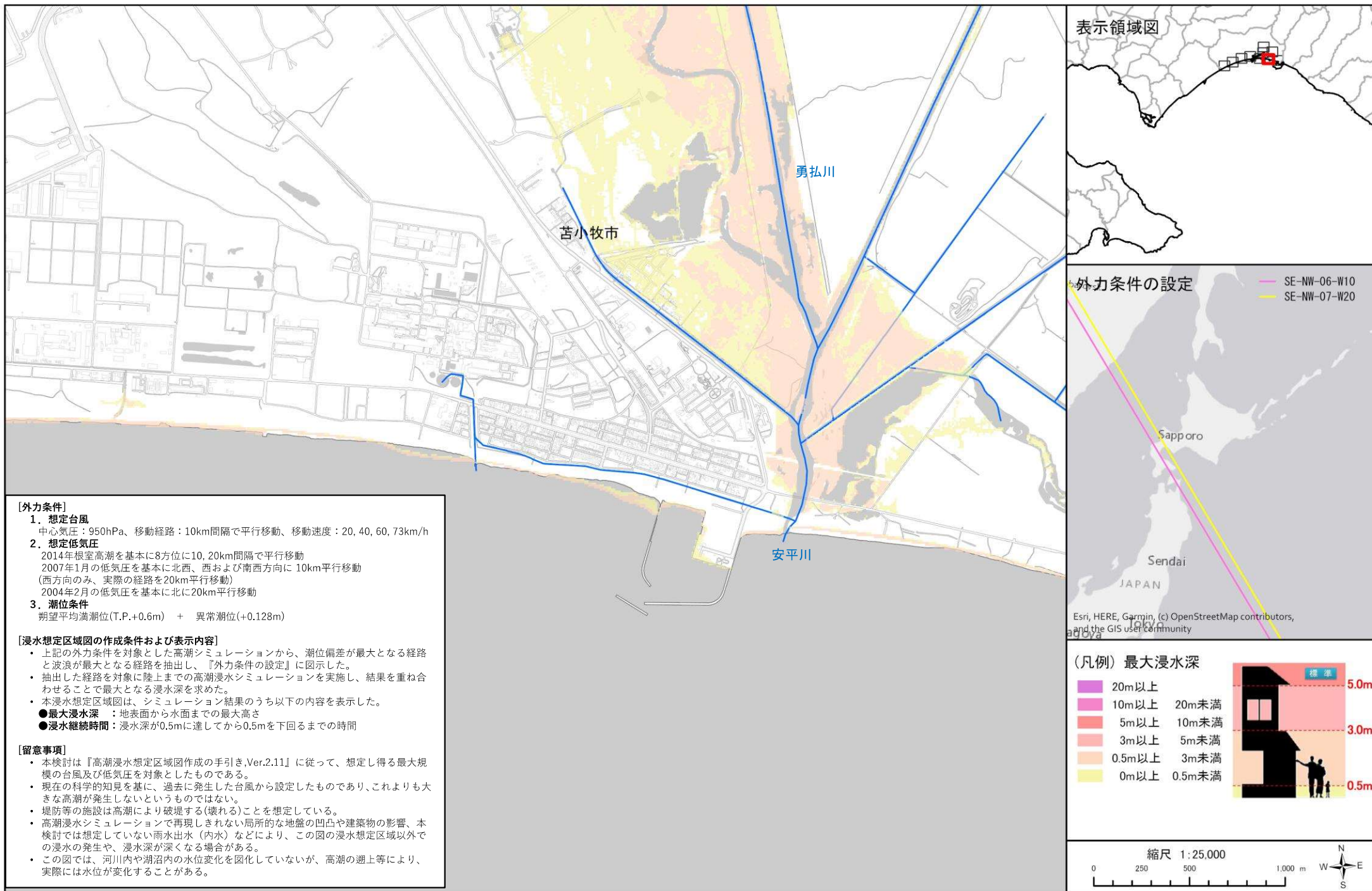
【留意事項】

- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き, Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- 堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
- 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。

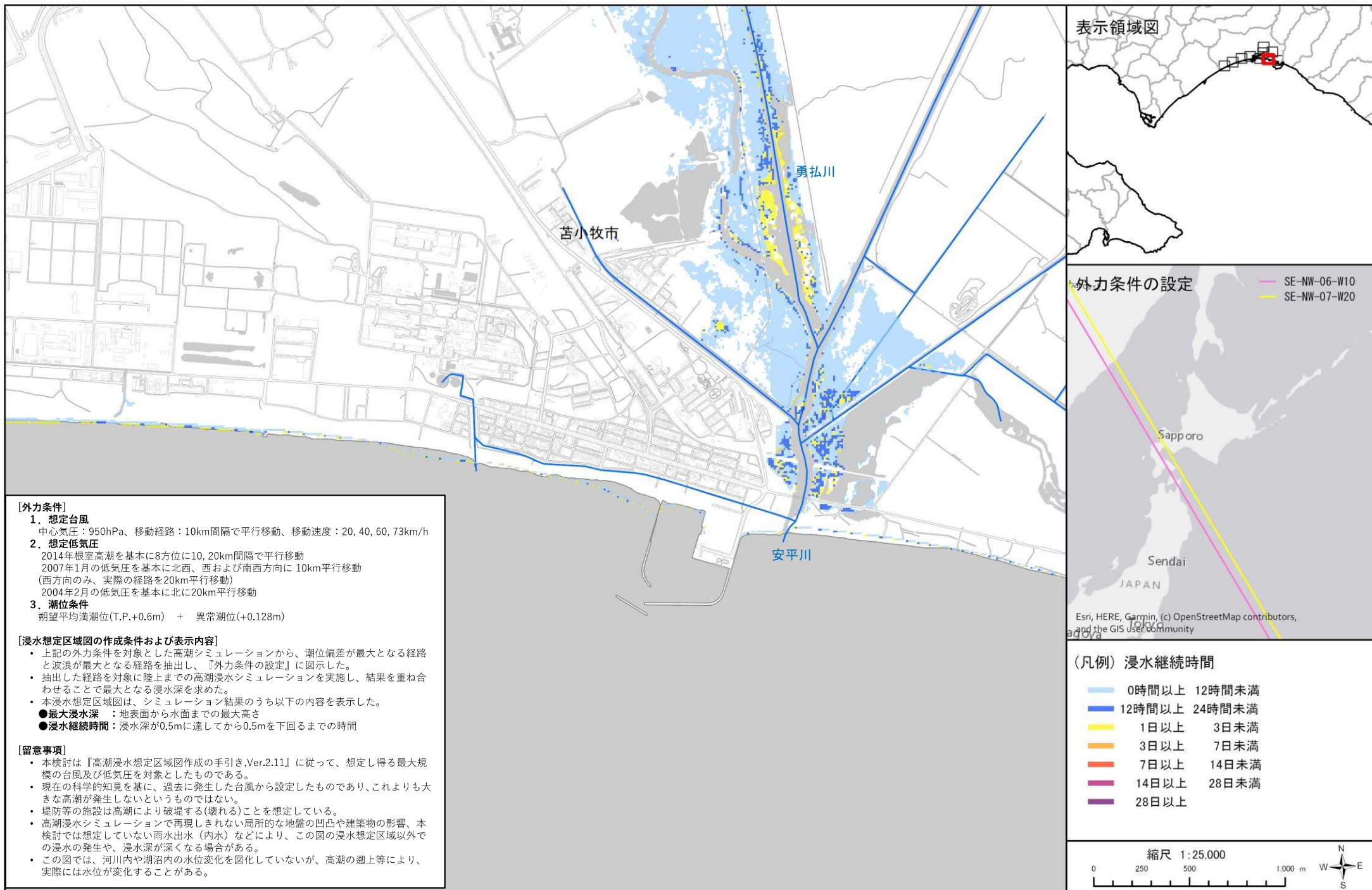
高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【苫小牧市 1/ 10】



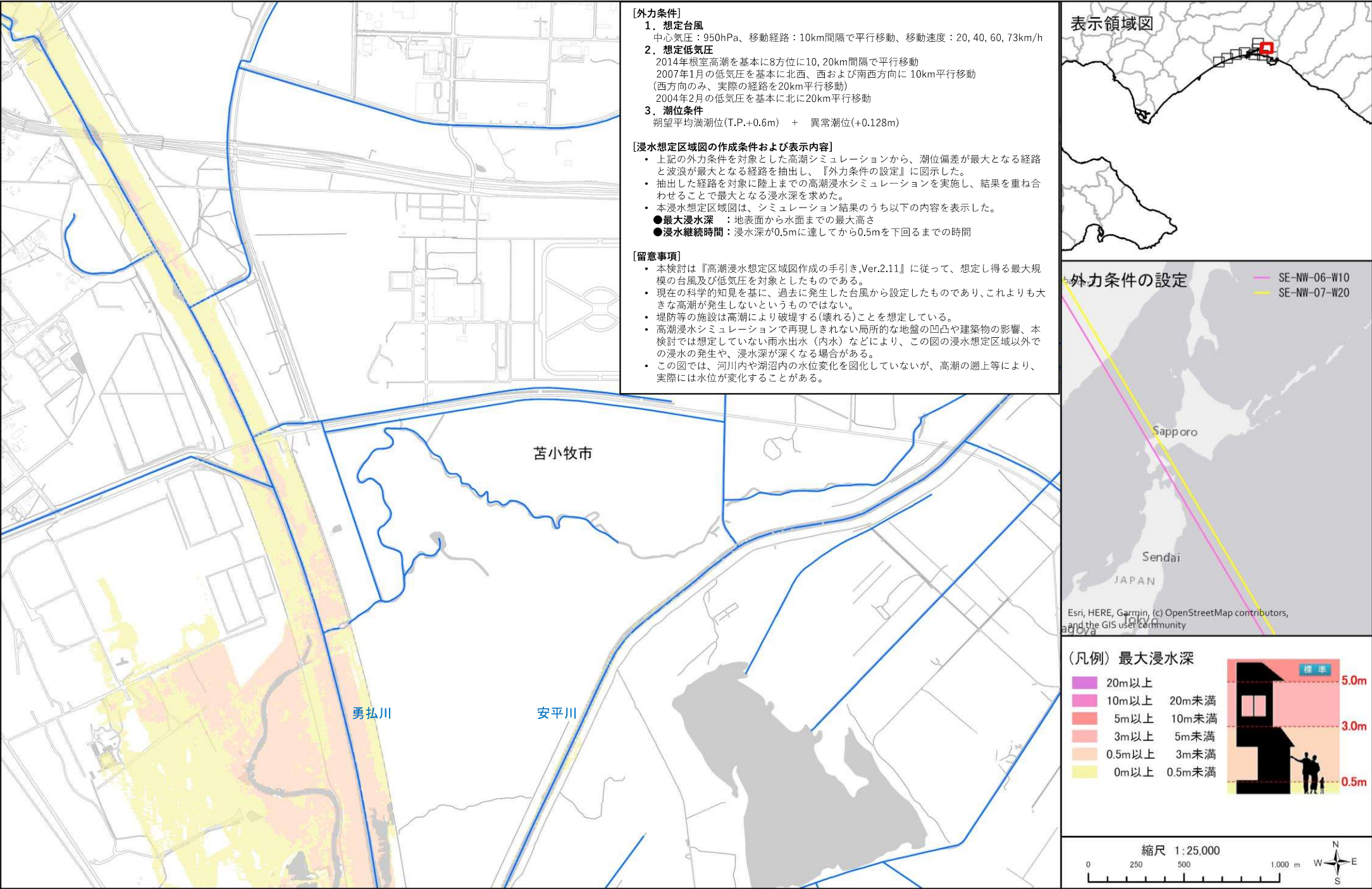
高潮浸水想定区域図（浸水深）【苫小牧市 2/ 10】



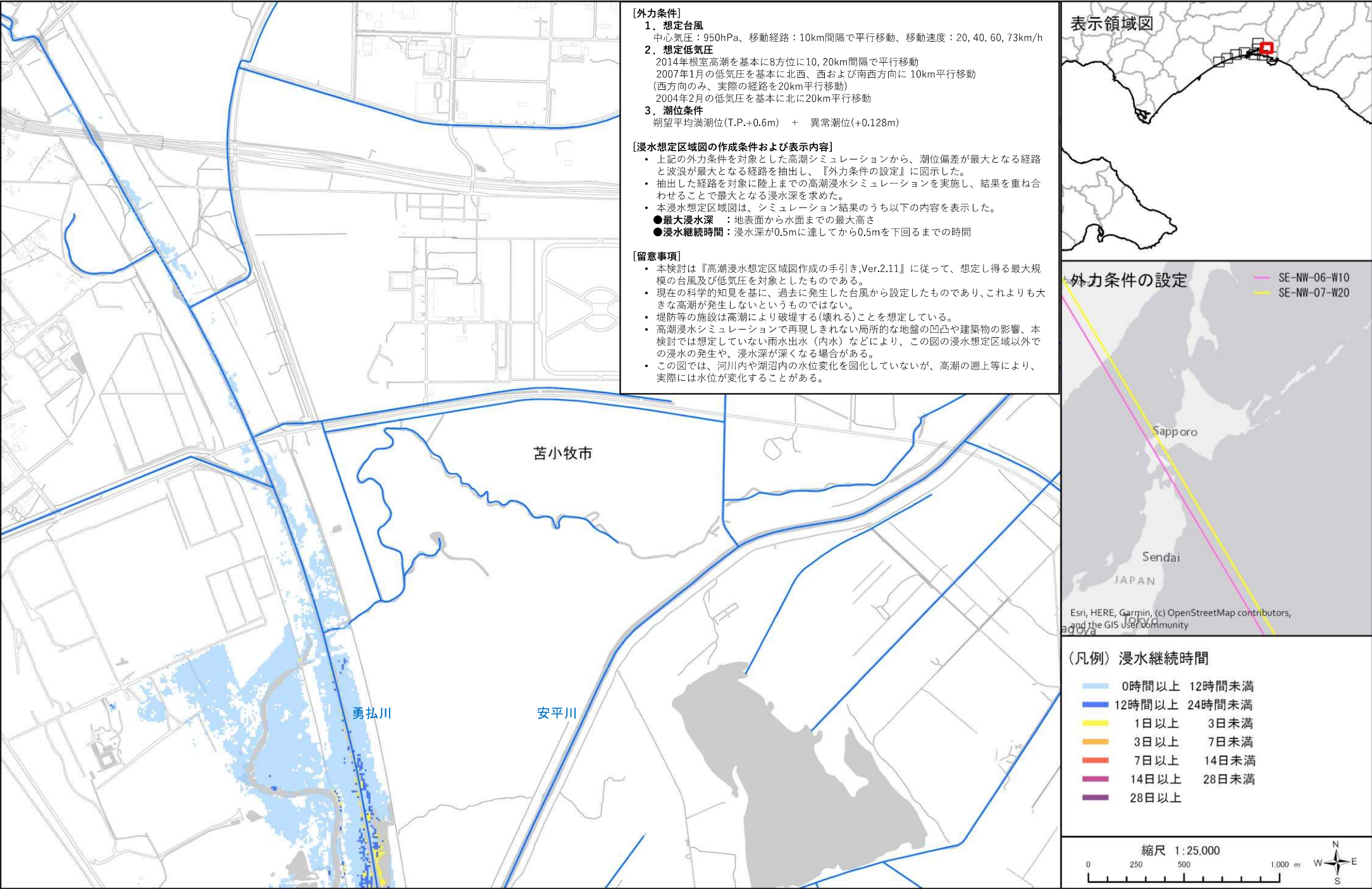
高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【苫小牧市 2/ 10】



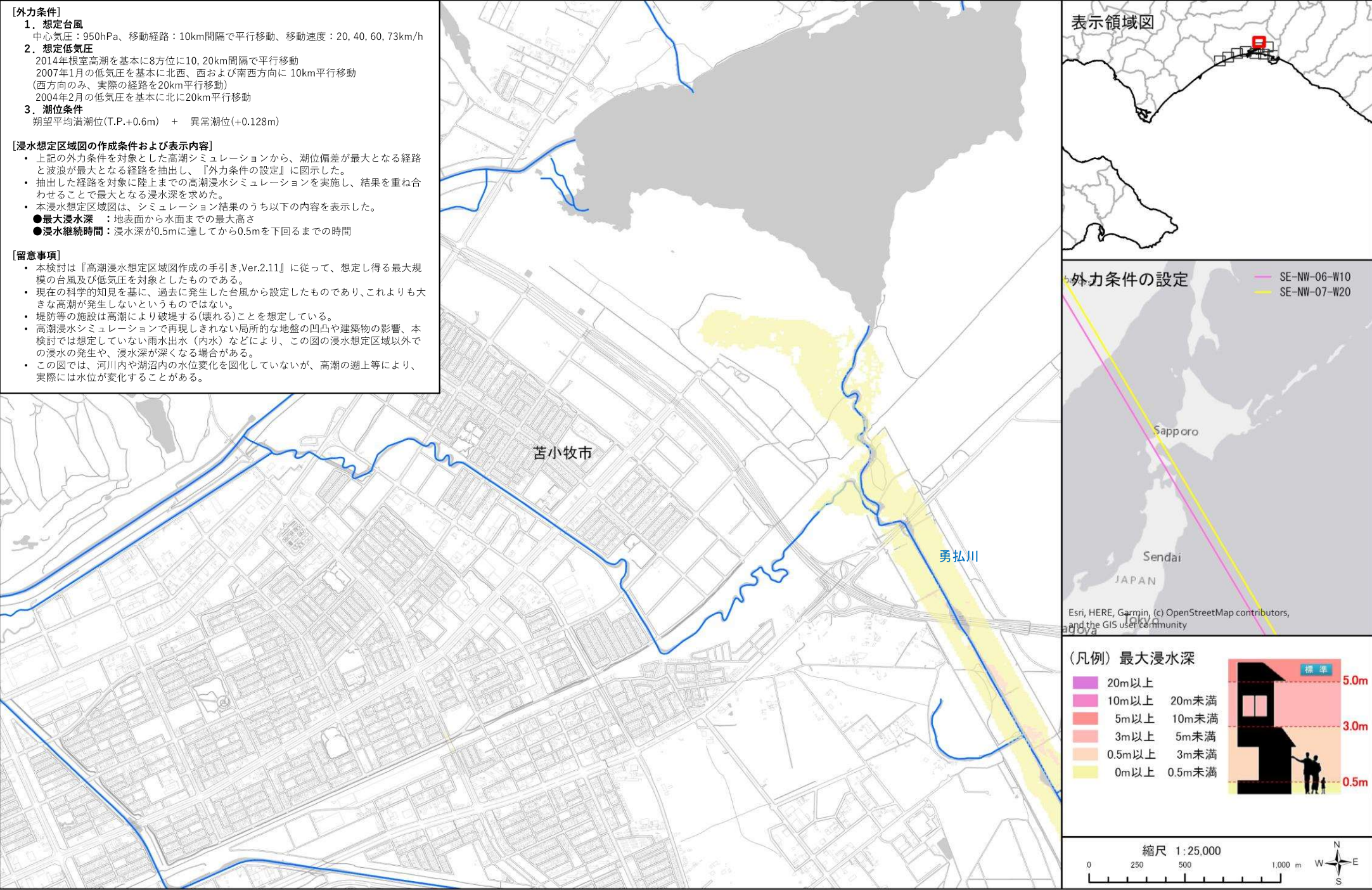
高潮浸水想定区域図（浸水深）【苫小牧市 3/ 10】



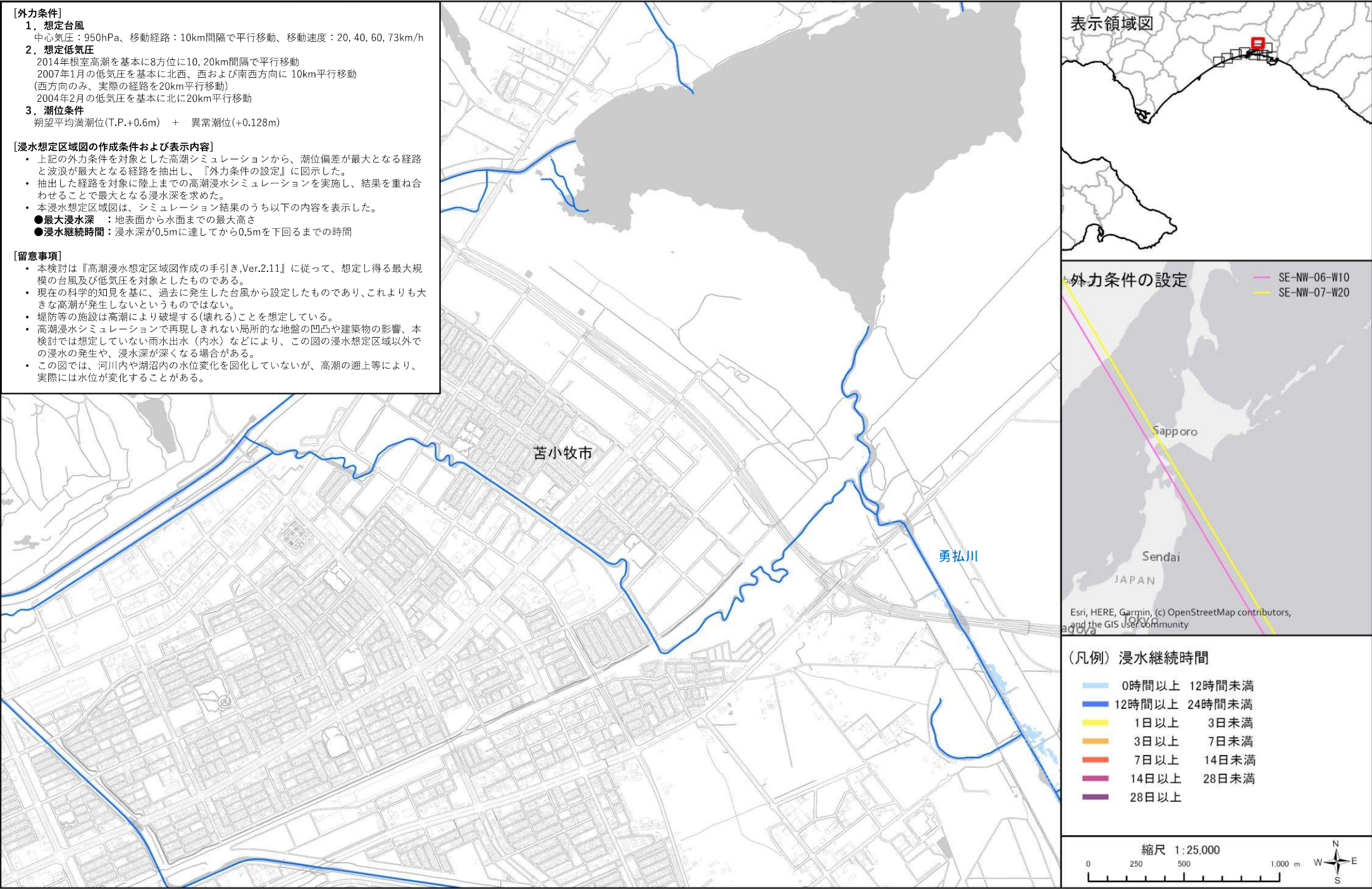
高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【苫小牧市 3/ 10】



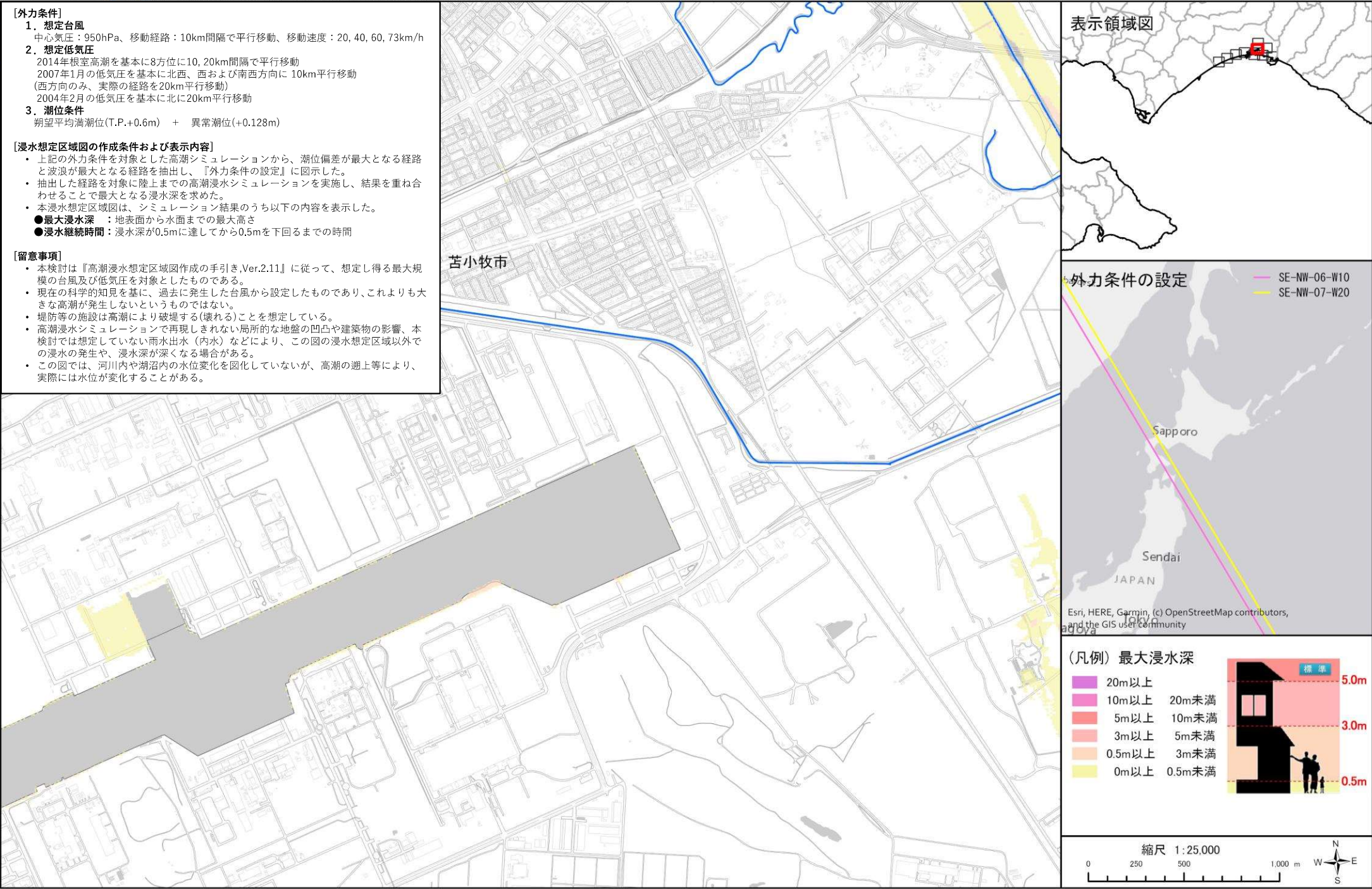
高潮浸水想定区域図（浸水深）【苫小牧市 4/ 10】



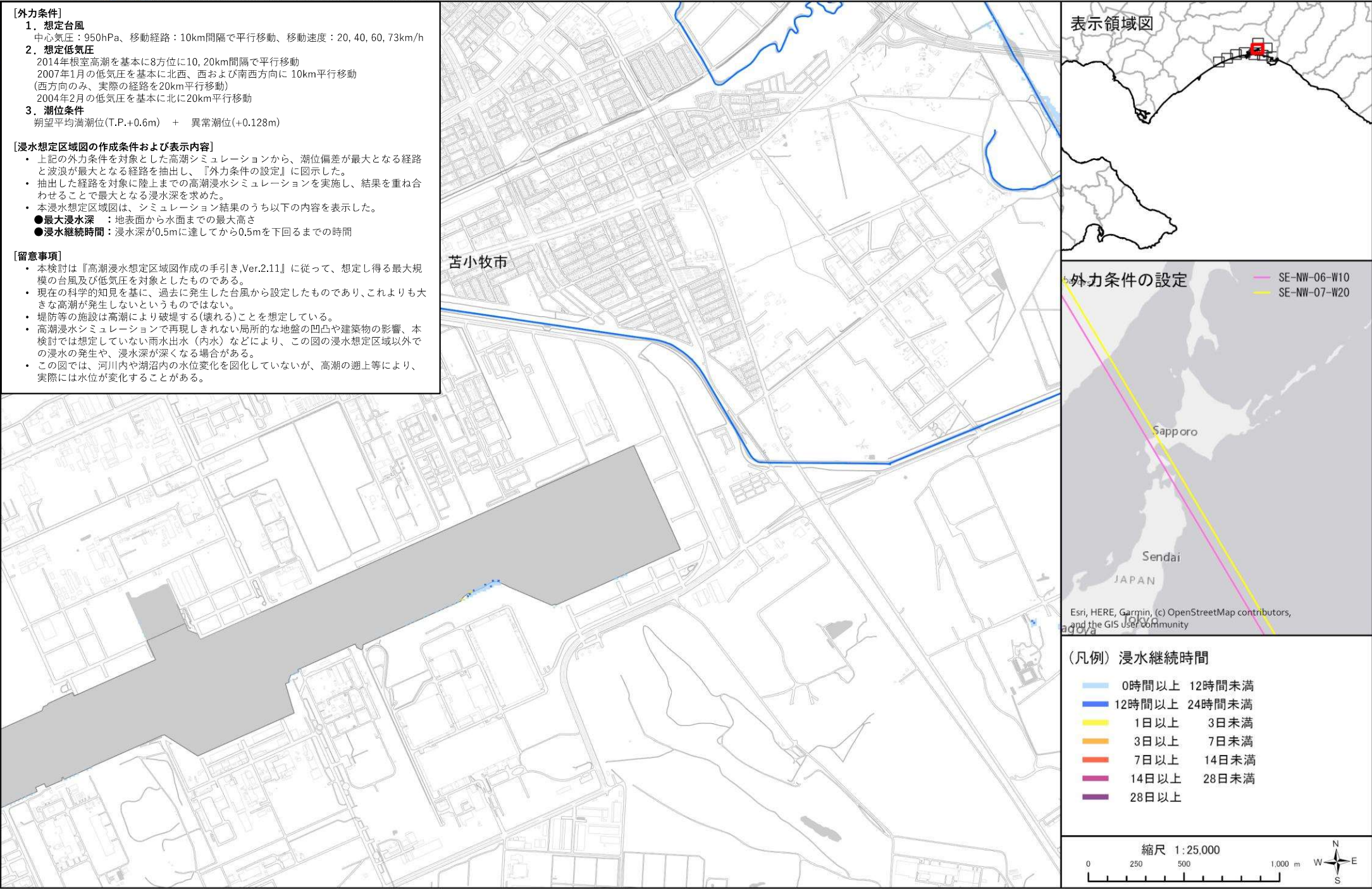
高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【苫小牧市 4/ 10】



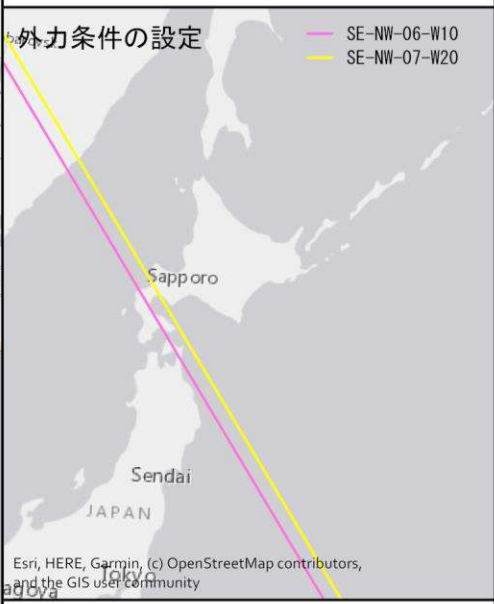
高潮浸水想定区域図（浸水深）【苫小牧市 5/ 10】



高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【苫小牧市 5/ 10】



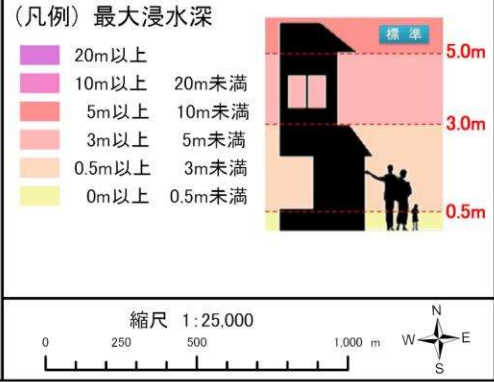
高潮浸水想定区域図（浸水深）【苫小牧市 6/ 10】



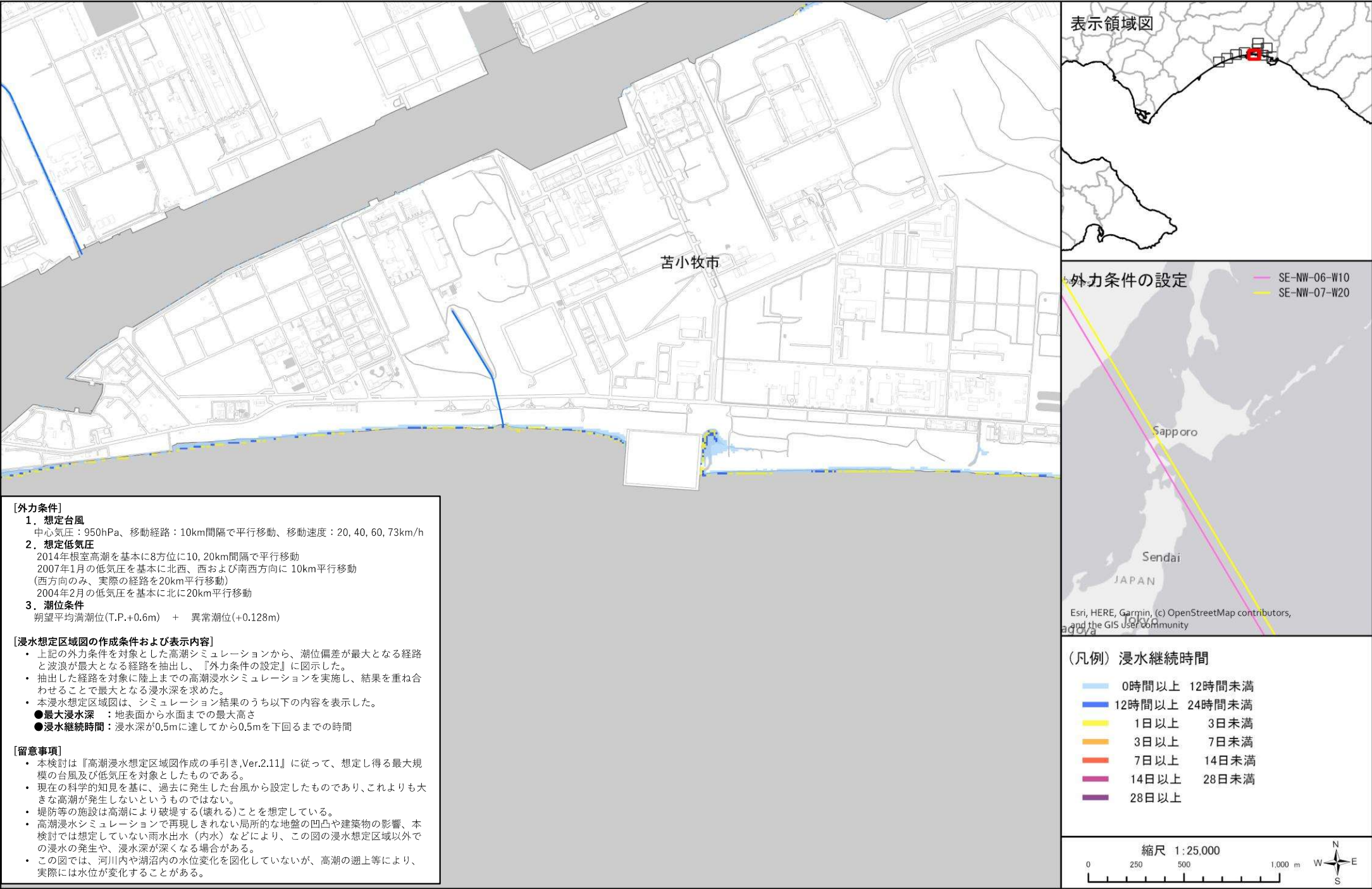
- [外力条件]
- 1. 想定台風
中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20、40、60、73km/h
 - 2. 想定低気圧
2014年根室高潮を基本に8方位に10、20km間隔で平行移動
2007年1月の低気圧を基本に北西、西および南西方向に10km平行移動
(西方向のみ、実際の経路を20km平行移動)
2004年2月の低気圧を基本に北に20km平行移動
 - 3. 潮位条件
朔望平均満潮位(T.P.+0.6m) + 異常潮位(+0.128m)

- [浸水想定区域図の作成条件および表示内容]
- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
 - 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
 - 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
 - 最大浸水深：地表面から水面までの最大高さ
 - 浸水継続時間：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

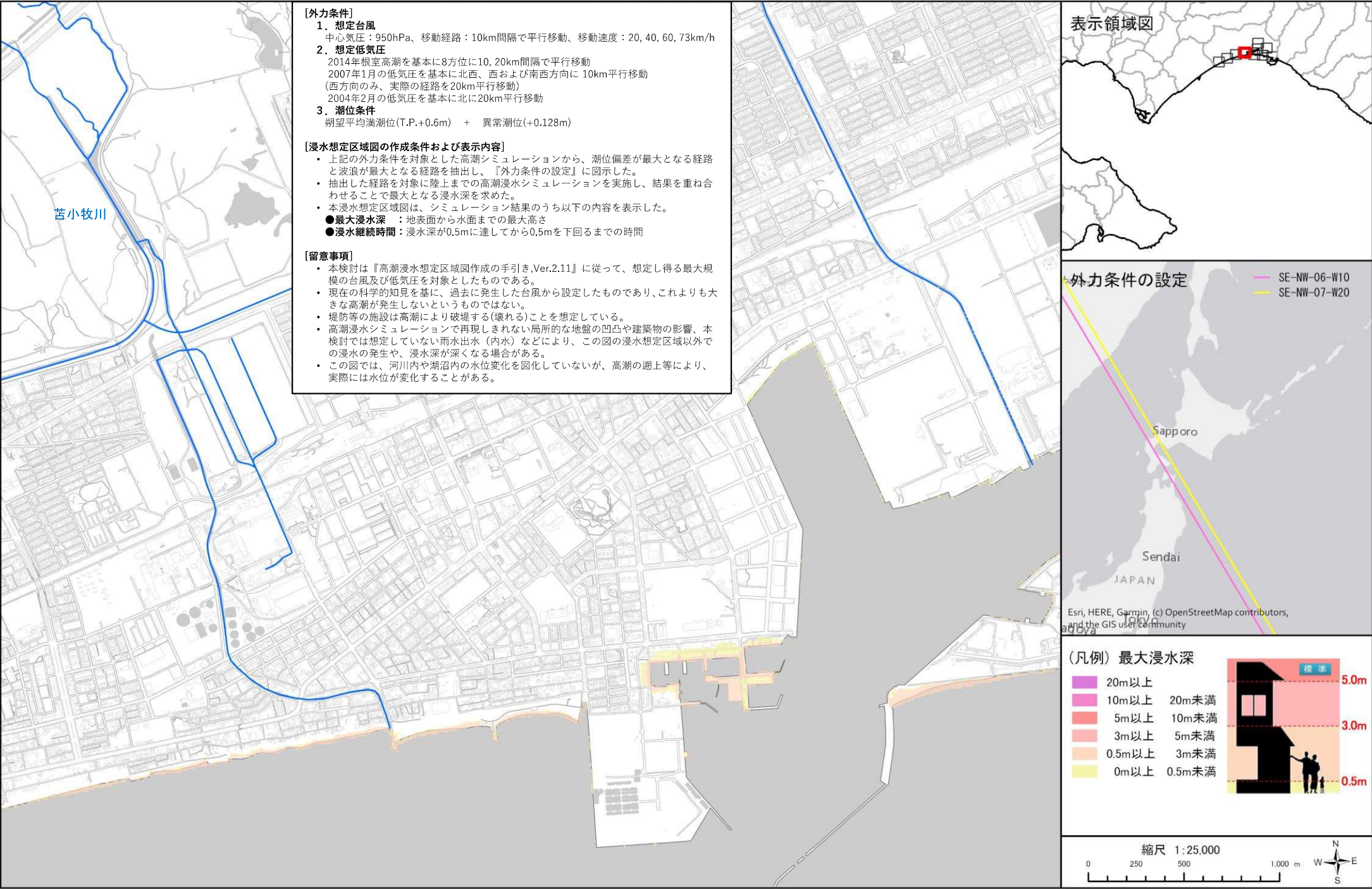
- [留意事項]
- 本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
 - 現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
 - 堤防等の施設は高潮により破壊する(壊れる)ことを想定している。
 - 高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外の浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
 - この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。



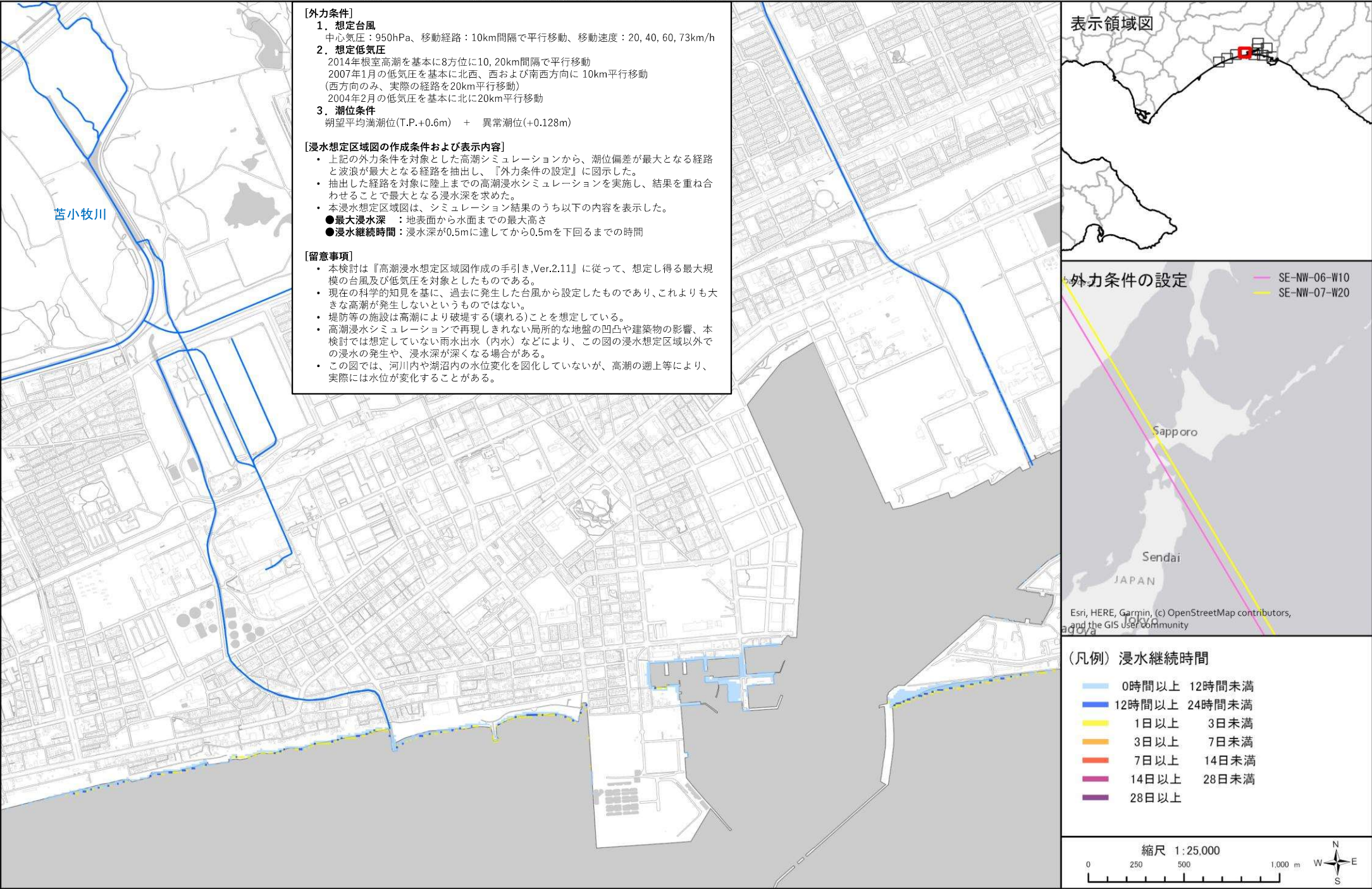
高潮浸水想定区域図（浸水継続時間） 【苫小牧市 6/ 10】



高潮浸水想定区域図（浸水深）【苫小牧市 7/ 10】



高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【苫小牧市 7/ 10】



高潮浸水想定区域図（浸水深）【苫小牧市 8/ 10】

[外力条件]

1. 想定台風

中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20, 40, 60, 73km/h

2. 想定低気圧

2014年根室高潮を基本に8方位に10、20km間隔で平行移動
2007年1月の低気圧を基本に北西、西および南西方向に10km平行移動
(西方向のみ、実際の経路を20km平行移動)

2004年2月の低気圧を基本に北に20km平行移動

3. 潮位条件

朔望平均滿潮位(T.P.+0.6m) + 異常潮位(+0.128m)

[浸水想定区域図の作成条件および表示内容]

- ・上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- ・抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- ・本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
 - 最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ
 - 浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

[留意事項]

- ・本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き,Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- ・現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これより大きな高潮が発生しないというものではない。
- ・堤防等の施設は高潮により破壊する(壊れる)ことを想定している。
- ・高潮浸水シミュレーションで再現されない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- ・この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化する場合がある。

表示領域図

外力条件の設定

SE-NW-06-W10

SE-NW-07-W20

Sapporo

Sendai

JAPAN

Esri, HERE, Garmin, (c) OpenStreetMap contributors,
and the GIS user community

(凡例) 最大浸水深

20m以上	20m未満
10m以上	10m未満
5m以上	5m未満
3m以上	3m未満
0.5m以上	0.5m未満
0m以上	0.5m未満

標 2

5.0m

3.0m

0.5m

7

—

縮尺 1:25,000

0 250 500 1,000

高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【苫小牧市 8/ 10】

[外力条件]

1. 想定台風

中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、移動速度：20, 40, 60, 73km/h

2. 想定低気圧

2014年根室高潮を基本に8方位に10、20km間隔で平行移動
2007年1月の低気圧を基本に北西、西および南西方向に10km平行移動
(西方向のみ、実際の経路を20km平行移動)

(西方向のみ、実際の経路を20km平行移動)

2004年2月の低気圧を基本に北に20km平行移動

3. 潮位条件

朔望平均滿潮位(T.P.+0.6m) + 異常潮位(+0.128m)

〔浸水想定区域図の作成条件および表示内容〕

- ・上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- ・抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- ・本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
 - 最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ
 - 浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

[留意事項]

- ・本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き, Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- ・現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないというものではない。
- ・堤防等の施設は高潮により破堤する(壊れる)ことを想定している。
- ・高潮浸水シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- ・この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。

表示領域図

外力条件の設定

SF-NW-06-W10

SE-NW-07-W20

Sapporo

Send a

JAPAN

Esri, HERE, Garmin, (c) OpenStreetMap contributors,
and the GIS user community

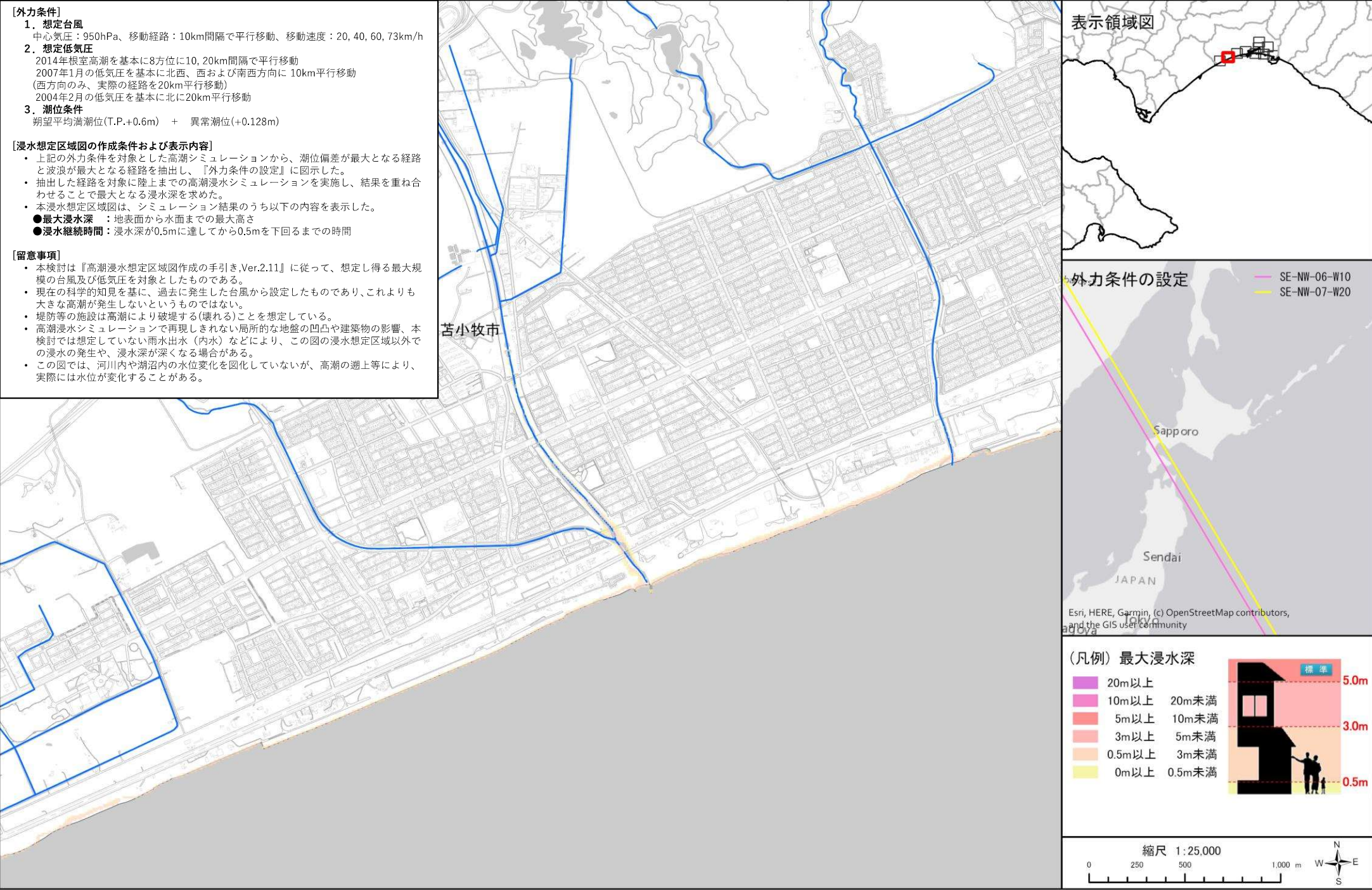
(凡例) 浸水繼續時間

0時間以上	12時間未満
12時間以上	24時間未満
1日以上	3日未満
3日以上	7日未満
7日以上	14日未満
14日以上	28日未満
28日以上	

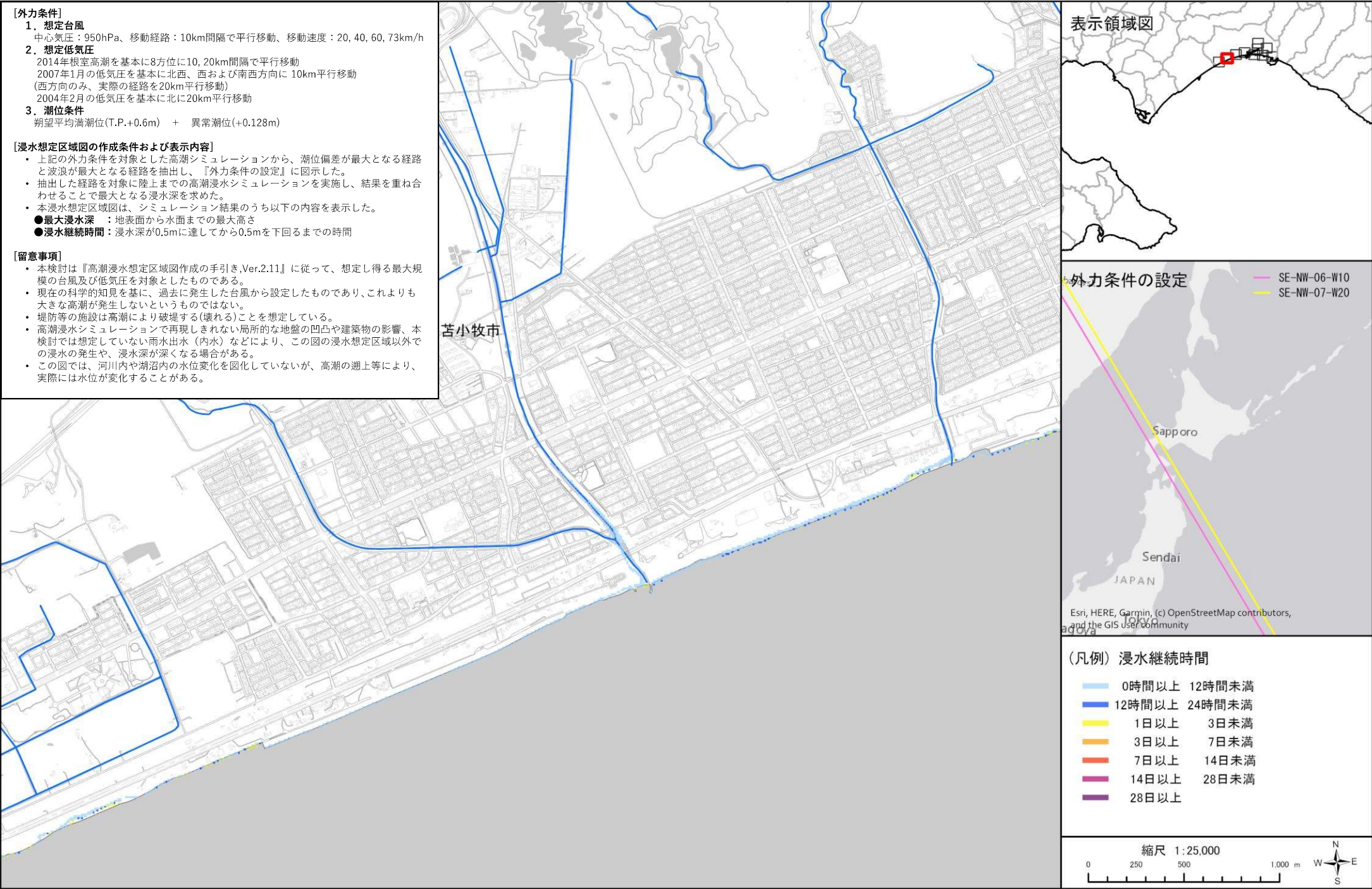
縮尺 1:25,000

Month	Number of People
January	450
February	400
March	350
April	300
May	250
June	200
July	150
August	100
September	150
October	200
November	250
December	300

高潮浸水想定区域図（浸水深）【苫小牧市 9/ 10】



高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【苫小牧市 9/ 10】



高潮浸水想定区域図（浸水深）【苫小牧市 10/ 10】

[外力条件]

1. 想定台風

中心気圧：950hPa、移動経路：10km間隔で平行移動、
移動速度：20, 40, 60, 73km/h

2. 想定低気圧

2014年根室高潮を基本に8方位に10、20km間隔で平行移動
2007年1月の低気圧を基本に北西、西および南西方向に10km平行移動
(西方向のみ、実際の経路を20km平行移動)
2004年2月の低気圧を基本に北に20km平行移動

3. 潮位条件

朔望平均滿潮位(T.P.+0.6m) + 異常潮位(+0.128m)

「浸水想定区域図の作成条件および表示内容」

- 上記の外力条件を対象とした高潮シミュレーションから、潮位偏差が最大となる経路と波浪が最大となる経路を抽出し、『外力条件の設定』に図示した。
- 抽出した経路を対象に陸上までの高潮浸水シミュレーションを実施し、結果を重ね合わせることで最大となる浸水深を求めた。
- 本浸水想定区域図は、シミュレーション結果のうち以下の内容を表示した。
 - **最大浸水深**：地表面から水面までの最大高さ
 - **浸水継続時間**：浸水深が0.5mに達してから0.5mを下回るまでの時間

[留意事項]

- ・本検討は『高潮浸水想定区域図作成の手引き, Ver.2.11』に従って、想定し得る最大規模の台風及び低気圧を対象としたものである。
- ・現在の科学的知見を基に、過去に発生した台風から設定したものであり、これよりも大きな高潮が発生しないということではない。
- ・堤防等の施設は高潮により破壊する(壊れる)ことを想定している。
- ・高潮浸水シミュレーションで再現されない局所的な地盤の凹凸や建築物の影響、本検討では想定していない雨水出水(内水)などにより、この図の浸水想定区域以外での浸水の発生や、浸水深が深くなる場合がある。
- ・この図では、河川内や湖沼内の水位変化を図化していないが、高潮の遡上等により、実際には水位が変化することがある。

表示領域図

外力条件の設定

SF-NW-06-W10

SE-NW-07-W20

Sapporo

Sendai

JAPAN

Esri, HERE, Garmin, (c) OpenStreetMap contributors,
and the GIS user community

(凡例) 最大浸水深

20m以上	
10m以上	20m未満
5m以上	10m未満
3m以上	5m未満
0.5m以上	3m未満
0m以上	0.5m未満

標準

5.0m

3.0m

0.5m

縮尺 1:25,000

高潮浸水想定区域図（浸水継続時間）【苫小牧市 10/ 10】

